

学習指導を家庭と一緒に！

武川小学校では学校教育目標である「よく学ぶ子」を育てるために次の指導をしています。

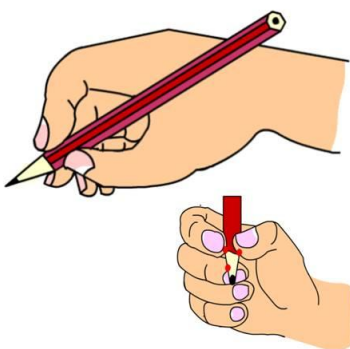
筆箱の中

- えん筆は、少なくとも5本以上入れておき、名前を書いておく。
- えん筆以外に、赤えん筆（赤ペン）、消しゴム、15cmくらいの定規、名前ペン（黒）を入れておく。
- えん筆は家で削ってくる。



えん筆の正しい持ち方

- ①手首をつくの上につける。
 - ②えんぴつがかたむきすぎたり、立ちすぎないようにする。
 - ③持った手は、小さな卵をにぎったような形にする。
 - ④中指・薬指・小指は軽く丸める。
 - ⑤指に力を入れすぎない
 - ⑥中指の第一関節でえんぴつを受ける。
- ★正しい持ち方をすると長い文章もあまりつかれずに書けます。また、字も上手にかけます。



えん筆の正しい持ち方

イラスト 辻野 裕美

武川小 学び方の名人シリーズ

次の日の学校の準備は前日にさせてください。
朝は短い時間の中で何かとすることが多いです。次の日の時間割そろえや持ち物の準備は前日の日にするようにさせてください。

低学年では、翌日の準備をするときに一緒に準備をしてください。高学年では、翌日の準備ができたかどうか声かけをしてください。毎日決まった時間に準備をすると生活にリズムが生まれます。

「筆箱の中」「えん筆の持ち方」とともに「学び方名人・学びのしつけ」として、武川小学校ホームページに掲載されています。

小さいときから学習をする習慣を身に付けること、また鉛筆の正しい持ち方や文字を書くときの正しい姿勢等、学習を進めていくうえで大切なことを身に付けていくことは、児童が生涯にわたって学習しようとする意欲や学習の進め方を習得する上で大切なことです。

学習の基礎・基本と言えます

文字を書くときの姿勢

- つくえと体の間は、にぎりこぶしひとつ分ぐらいあける。
- 足のうらをゆかにつける。
- えんぴつを持たない方の手でノートをおさえ、ノートから30cmくらい目をはなして書く。ひじがつくえにつかないようにする。
- 本は、ノートの左側に置く。ノートがいつも右側にくるように、ノートをいどうさせて書くようにする。



イラスト 辻野 裕美

書くときの姿勢

武川小 学び方の名人シリーズ

家庭学習の習慣を身に付ける中で、学習内容の定着化はもちろんですが、

- ・継続する力
- ・忍耐力（根気）
- ・集中力
- ・計画力
- ・実行力
- ・主体性など

様々な効果も期待できるのではないかと思います。また、家庭学習に保護者の方がかかわることができたら、大事なコミュニケーションの機会にもなります。

家庭学習の
習慣は小学校の
低学年から！

「筆箱の中」「えん筆の持ち方」ともに「学び方名人・学びのしつけ」として、武川小学校ホームページに掲載されています。

武川小学校には、低・中・高学年別の「家庭学習の手引き」があります。まず、宿題をする。次に、自分で内容を考えて学習する。毎日の地道な取組が力になります。保護者の皆様は配布した手引きにもう一度目を通していただくとともに、子どもたちの努力を認め、学習意欲が高まるような働きかけをお願いします。

家庭学習を推進するためのリーフレット

家庭学習の手引き

— 自ら学ぶ子どもをめざして —

確かな学力は 学校と家庭で



北杜市立武川小学校

家庭学習の進め方

保護者用

1 家庭学習の意義

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身につけるために必要であるだけでなく、学習する習慣を身につけさせたり、自ら学ぼうとする意欲を育てたりするのに必要です。

(1) 学んだことの定着

学校で学習したことが分かり使えるようになるためには、何度も繰り返し取り組むことが大切です。

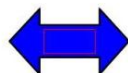
(2) 学習することの習慣づけ

学校での学習以外にも、家庭で毎日学習をする習慣を身につけることは、現在、さらに今後の子どもたちの成長のためにも必要になります。

(3) 自分で学ぼうとする意欲の育ち

日常生活の中で課題を見つけ出し、追究していく姿勢を身につけます。

学校は
確かな学力の定着をめざす



家庭は
子どもの学びを支える

一層の学習の定着

学習習慣の形成

自ら学ぶ意欲の育成

2 学力の定着には望ましい習慣を

家庭学習を進めて、家庭で子どもたちの学力を定着させるには、「生活習慣」「食習慣」「学習習慣」「読書習慣」の4つの習慣を身につけさせることが大切です。

① 生活習慣

学力の定着には規則正しい生活が大切です。一定の生活リズムを保つことにより、集中して学習に取り組むことができるようになります。

② 食習慣

規則正しい食事の習慣は、基礎体力をつけ、体を丈夫にします。学習にも体力が必要です。毎日朝御飯を食べさせることから始めてください。

③ 学習習慣

小学生のうちから、毎日学習する習慣を身につけます。「継続は力なり」です。

④ 読書習慣

子どものうちから本に親しみ、読書をする習慣を身につけることは、語彙を豊かにし、読解力をつけることにつながります。

家庭学習の取り組み方

1 まずは宿題から

- ① 最初に、担任から出る宿題をさせましょう。
- ② 次に、「進んで勉強をしよう」(児童用の家庭学習の手引き)を参考にして学習をさせましょう。
- ③ 学習が終わったら、次の日の準備をさせましょう。

2 時間の目安

一般的に、学年×10分と言われます。(読書の時間は別にして)

<家庭学習の時間の目安>

低学年	10分～20分程度
中学年	30分～40分程度
高学年	50分～60分程度

無理せず、根気よく!



3 家庭学習における保護者の役割

① 学習時間の確保

塾、習いごとなど、子どもたちもいろいろと忙しいと思いますが、**毎日必ず学習する習慣**を身につけさせてください。曜日によって違うかもしれませんが、**何時から何時まで**勉強するということをご家庭でよく話し合っ、無理のない時間を設定してください。

② 学習環境づくり

テレビがついていたり、ご家族の方が大声で話をしていたりする中で勉強しても効果は上がりません。お子さんが**落ち着いた学習環境**の中で取り組むことができるようにしてください。ご家族の協力が欠かせません。

③ サポーター・伴走者

学習意欲の継続のためには、**保護者の声かけや励まし、助言**が大切です。保護者の方もお忙しとは思いますが、ときには一緒に取り組んでいただくと、子どもたちはより張り切ることでしょう。特に低学年の場合は、自分では正しくやっているつもりでも、誤りに気づかずにいることが多いと思います。保護者の方がとなりにいて見守りながら取り組ませることが理想です。中・高学年でも、確認は必要です。

④ 学校との連携

かわり方などご不明な点があれば、ご遠慮なさらないで担任に相談してください。

みえるところにはっておきましょう

すすんでべんきょうしよう！

武川小学校

低学年（1・2）

べんきょうするじかん

10～20ふん

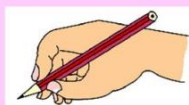


まずは下のことをきちんとしましょう！

- 1 はやね・はやおきをしましょう。
- 2 あさごはんをしっかりたべ、まい日うんちをしましょう。
- 3 あいさつをしましょう。
- 4 いえのおてつだいをしましょう。
- 5 かたづけをしましょう。
- 6 つぎの日のじゅんびをしましょう。

<いえでのべんきょうでだいじなこと>

- 1 まい日、じかンをきめる。
____じ____ふん ～ ____じ____ふん
- 2 つくえの上とまわりをきれいにし、ひつようなものをきちんとそろえる。
- 3 はじめたらとちゅうで立ちあるかない。
- 4 しせいを正しくする。（えんぴつのもちかたにきをつける）
- 5 とちゅうでテレビをつけたり、おやつをたべたりしない。
- 6 しゅくだいをしてからあそびに行く。



べんきょうすること

- ★はじめにしゅくだいをしましょう。
- ★つぎに、下のようなべんきょうをしましょう。



ミクゴ

<おんどく>

- ・きょうかしよのいまべんきょうしているところを3かいよみましょう。
- ・大きなこえをだしてよめるようにしましょう。
- ・「,」「。」にきをつけて、すらすらよめるようにしましょう。
- ・まいにちつづけてれんしゅうしましょう。

<かんじ>

- ・ならったかんじをかきじゅんにきをつけてかきましょう。
- ・正しいしせいでていねいにかきましょう。

<どくしよ>

- ・本をたくさんよみましょう。



さんすう

<きょうかしよのもんだいをする>

- ① がっこうでべんきょうしたところをもういちどノートにやってみましょう。
- ② ①でしたこたえがあっているかを、さんすうのノートをみて、まるつけをしましょう。
- ③ まちがえたときはもういちどしましょう。

そのほか

- ・たのしかったことやうれしかったことをにっきやえにっきにかくこともいいですね。（「いつ・どこで・だれと・なにをしたかをかきましょう」）
- ・けんぱんハーモニカをれんしゅうしたり、せいかつかのどうぶつやしよくぶつのかんさつをしたりしてもいいですね。
- ・なわとびのれんしゅうなどもいいですね。

見えるところにはっておきましょう

進んでべん強をしよう!

武川小学校

中学年 (3・4)

家庭学習のめやす

30～40分



まずはよい習かんを身につけよう!

- 1 早ね・早起きをする。
- 2 朝ごはんをしっかり食べ、毎日大便をする。
- 3 あいさつをする。
- 4 家の手伝いをする。
- 5 身の回りの整理整頓をする。
- 6 次の日のじゅんびは前日にする。



★家庭学習の5ポイント★

- 1 毎日、時間をきめる。

_____時_____分～_____時_____分



- 2 つくえの上と周りをきれいにし、ひつような物をきちんとそろえる。
- 3 始めたら、30分間は立ち歩かない。
- 4 しせいを正しくする。(えん筆の持ち方に気をつける)
- 5 と中でテレビをつけたり、おやつを食べたりしない。



家庭学習の内よう

- ★初めに宿題をしよう。
- ★次に、下のような学習をしよう。



国語

れいを示します。まだいろいろな方法がありますので、参考にしてください。

<音読>

- ・今学習しているところをしっかりと声に出して3回読む。
- ・すらすら読めるようになるまで練習する。音読カードがあれば、そのこうもくができるようにする。

<漢字>

- ・新しく出てきた漢字は、正しい書きじゅんで正しくに書けるようにする。
- ・読みかえ漢字も送りがなをつけて正しく書けるようにする。

<言葉>

- ・国語辞典や漢字辞典を手元におき、使い方になれる。

<読書>

- ・いろいろなしゅるいの本を読む。

算数

- ・教科書に出てきた大切な言葉は意味が分かるようにノートに写す。
- ・学校で学習した問題をもう一度ノートにやってみる。文章問題は、問題を写してからする。
- ・まちがえた問題は、くり返しやってみる。
- ・三角じょうぎや分度器（き）、コンパスを正しく使えるようにする。

社会

- ・じゅぎょうで学習したところを2～3回音読する。
- ・教科書、ノート、プリントをもとにだいじなことをまとめる。
- ・県名や主な都市名とそのいち、主な山や川の名前とそのいちをおぼえる。

理科

- ・授業で学習したところを2～3回音読する
- ・わかったことはノートに写しておぼえる。
- ・実験をした場合、何のための実験か、どのようにしたのか（手順）、どんなことがわかったのかをまとめる。

その他

- ・テストやプリントでまちがったところをもう一度やり直してみる。
- ・家庭学習ノートや日記ちょうを用意して、文章を書くきかいを増やす。

進んで勉強をしよう!

武川小学校

高学年 (5・6)

家庭学習のめやす

50～60分



まずはよい習慣を身につけよう!

- 1 早寝・早起きをする。
- 2 朝ご飯をしっかり食べ、毎日大便をする。
- 3 あいさつをする。
- 4 家の手伝いをする。
- 5 身の回りの整理整頓をする。
- 6 次の日の準備は前日にする。



★家庭学習の5ポイント★



- 1 毎日、時間を決める。
_____ 時 _____ 分～ _____ 時 _____ 分
- 2 机の上と周りをきれいにし、必要な物をきちんとそろえる。
- 3 始めたら、30分間は立ち歩かない。
- 4 姿勢を正しくする。(鉛筆の持ち方に気をつける)
- 5 途中でテレビをつけたり、おやつを食べたりしない。

家庭学習の内容

- ★初めに宿題をしよう。
- ★次に、下のような学習をしよう。



国語

例を示します。まだいろいろな方法がありますので、参考にしてください。

<音読>

- ・しっかりと声に出して読む。
- ・すらすら読めるようになるまで練習する。音読カードがあれば、その項目（こうもく）ができるようにする。
- ・詩や俳句などは暗唱したり、朗読（ろうどく）したりする。

<漢字>

- ・新しく出てきた漢字は、文字の形や書き順に注意して正しく覚える。また、漢字の成り立ちを調べたり、熟語を調べたりする。

<言葉>

- ・国語辞典や漢字辞典を手元に置き、分からない言葉を調べる。また、調べた言葉を使って短文を作ってみる。

<読書>

- ・いろいろな種類の本を読む。

朗読とは、様子がわかるように気持ちをこめて読むことです。

算数

書く機会を増やそう

- ・教科書に出てきた大切な言葉を意味が分かるようにノートに写す。
- ・学校で学習した問題をもう一度ノートにやってみる。
- ・間違えた問題は、見ないでできるまでくり返しやってみる。
- ・にた問題を解いてみる。

社会

- ・授業で学習したところを2～3回音読する。
- ・教科書、ノートをもとに要点をまとめる。
- ・世界の主な大陸と大洋、主な国の名前と位置を覚える。

理科

- ・授業で学習したところを2～3回音読する
- ・わかったことはノートに写して覚える。
- ・実験をした場合、何のための実験か、どのようにしたのか（手順）、どんなことがわかったのかをまとめる。

その他

- ・その他の教科の学習も、学習したところを音読したり、大切なところをノートにまとめたりする。
- ・テストやプリントでまちがったところをもう一度やり直してみる。
- ・復習だけではなく、予習もしてみる。（どんなことをするのか分かり、授業で学習することが頭に入りやすい）
- ・学習したことに関係のあることを本やインターネットで調べる。
- ・ニュースに関心を持ち、できるだけ新聞を読み感想をもつ。

学習におけるルールやマナー

平成21年度～ 武川小学校

平成23年度一部修正

1 学習の開始前（準備）

- ☐ 学習用具を忘れない。
 - ・ 忘れたときには、自分から申し出る。
 - ・ 忘れたときの対応は、教師が決めた方法に従う。
- ☐ 鉛筆は家で削ってくる。学校に来てからは休み時間に削っておく。
- ☐ チャイムが鳴り終わるまで（できるだけ鳴るまで）に着席する。
- ☐ 次の時間に必要な物のみを机の上に出して学習の準備をする。
 - ・ 教科書、ノート、ワーク、筆箱を出しておく。教科書、ノート、ワークは開いておく。
- ※前の授業が終わった時点で、できるだけ次の授業の準備をしてから席を離れる。
- ☐ 教師が遅れた場合、前時の復習または本時の予習をして静かに待つ。
 - ・ 友達と話をしないなど、静かに待つ。

2 あいさつ・返事

- ☐ 学習のはじめとおわりのあいさつは、気をつけの姿勢で行う。
 - 次の①～④の方法については各学級で決めておく。
 - ①座ってあいさつをするのか、立ってあいさつをするのか。
 - ②号令は日直がするのか、学級会長がするのか。
 - ③号令は「気をつけ」「礼」とするのか、「気をつけ」「礼」のあとに全員で授業開始時には「始めましょう」、終了時には「終わりました」を言うのか。
 - ④号令はなしで授業を開始するのか。（児童を引きつけ、そのまま授業に入る方法もある）
- ☐ 指名されたら返事をする。「は」と「い」の間は短くする。「は」行の発音に気をつけて、はっきりと言う。

3 話す

- ☐ 発言するときは、挙手と同時に「はい」と言う。手はまっすぐにあげて、指名されたら返事をし立って発言する。
- ☐ みんなの方を向いて（下を向かない）、その場に応じた声の大きさではっきりと話す。
- ☐ 文末は敬体（「です」「ます」）で話す。
- ☐ 自分の考えをよく伝えるために、基本的な話型が示されているときはそれに沿って話す。
- ☐ 語尾までしっかりと話す。（日本語の文末決定性を意識させる）
- ☐ 友達の名前を出したり、呼んだりするときは、「君」「さん」をつける。
- ☐ 教師に対して、友達に言うのと同じような口調で話さない。

4 聞く

- ☐ 発言している人の顔を見て聞く。
- ☐ 私語、手いたずらをしない。
- ☐ 発言があるときでも、黙って最後まで聞く。
- ☐ 分からないことがある場合は質問をする。
- ☐ どの人の意見も尊重する。
- ☐ 友達の違い、失敗を笑わない。

5 書く

- ☐ 正しい鉛筆の持ち方で書く。
- ☐丁寧な文字で書く。
- ☐ プリントやノートへの記録は、黒板に書かれたことだけでなく、教師や友達の話でも大切なことは書く。＊

6 姿勢

- ☐ 正しい姿勢で座る。椅子に深く腰掛け背筋を伸ばし、床に足をつける。机とお腹は拳一つ分にする。
- ☐ 30 cm以上本やノートから目を離して読んだり、書いたりする。書くときは、左手（右手で）でノートを押さえて書く。
- ☐ 本を両手で持って読むことを基本とする。（サイドラインを引きながら読むなどの場合は別）

7 その他

- ☐ 机から離れるときは、椅子を入れる。
- ☐ 提出物の提出期日を守る。
- ☐ 机の上の整理整頓をする。
- ☐ 欠席したときは、後日ノートを友達に見せてもらい写す。＊
- ☐ 教室を離れるときは、机の上に物を置かない。
- ☐ 教室移動は静かに素早く行い、時間に遅れない。
- ☐ 移動教室の際、決められた席に着く。勝手に席を替えない。
- ☐ 筆箱の中身は、鉛筆5本、赤鉛筆（赤ボールペン）、名前ペン、消しゴム、直定規を最低限入れておく。

★上記指導内容は、児童が授業に主体的に参加させるためのルールやマナーとして、原則全学年で共通に指導をするものとする。ただし、＊のついたところなど、一部学年の実態に応じて指導内容から外してよい。

★学習習慣として定着できるように繰り返し指導する。

★上記以外に必要なルールは各学級で決めて指導する。